

## 6. ふりかえりシート（研修後のアンケート）のまとめ

# ふりかえりシート

Look back sheet

2021.11.12

今日一日を振り返って、下記の質問にお答えください。

Q1 ワークショップ全体（内容・運営）について  
(該当する枠の中に○を付けてください)

とても満足した	満足した	普通	不満だった	とても不満だった

Q2 Q1 でそう思った（そう感じた）理由は何でしょうか？

.....

Q3 本日のワークショップでどのような気づきがありましたか？

.....

Q4 本日のワークショップで嬉しかったこと、残念だったことはなんですか？

.....

Q5 本日のワークショップで学んだことを、今後、業務にどう活かしていきたいですか？

.....

Q6 その他、気づいたことなどがあればお書きください。

.....

どうもありがとうございました。

## 〈Q1〉全体の満足度

平均値 4.28 (午前 4.29 午後 4.28)

(とても満足した：5 満足した：4 普通：3 不満だった：2 とても不満だった：1として算出)

## 〈Q2〉Q1でそう思った理由は？

### ■とても満足した (24名)

- ・新潟市の魅力について、再確認・検討する場にてできたため。
- ・ワークショップを通じて、新潟市の課題や良さをより理解することができたからです。
- ・新潟市で住んでいても気付くことができなかった魅力、地域の課題などを知ることができたから。
- ・普段から考えている新潟市の良いところや改善点など、人と意見交換することで、より深く考えることができた。
- ・様々な職種の人と一緒に市について考えることで、いろいろな観点から課題や強みについて把握することができたため。
- ・様々な分野の職員と意見交換できたから。
- ・市役所の内でも色々な人と色々な見方で意見交換できたから。
- ・意見交換が楽しかった。
- ・普段、関わりの無い同期の方々と話す機会があったため。
- ・色々な人の意見を聞くことができたから。
- ・グループで楽しく話し合っ、色々な他の人の意見を聞くことができたから。
- ・意義ある話し合いをすることができたから。色々な意見を聞き、勉強になりました。
- ・身近な地域の課題について、多くの方と意見交換ができたため。
- ・自分の部署以外の若い方の意見・考えを聞けてためになったため。
- ・他の班の発表や同じ班の人の意見から、新たな発見があった。
- ・自分が考えている新潟市の課題とは別の、違う人が考えた意見を聞くことで、これからのとり組みが明確になったから。
- ・何を目標に決めるのかが明確に分かったと思いました。
- ・自分自身の考えをまとめることができたから。
- ・新潟市をよりよいまちにするにはどうしたら良いか、ものすごく考えて悩んだから。
- ・初対面の方が多い中でアイスブレイクを通じて仲良くなることができ、スムーズに意見を伝えることができた。
- ・進行がスムーズで楽しく受講できました。
- ・発表までの議論の展開がスムーズに設定されていると感じたから。
- ・説明が図を用いていて分かりやすかったです。時間配分がちょうどよかったです。
- ・多様な意見・アイデアをまとめる方法を学ぶことができた。
- ・皆で意見を出し合っ、より良いものを生み出していく実感や、多くの意見を取り入れることでより多くの人を対象にしたものができると感じられたから。
- ・グループワークをする機会がなかったので、自分では言語化できなかったり気づかなかった視点を他の方に共有してもらうことを良い刺激に感じた。
- ・普段ワークショップをする機会がないので貴重な経験が出来た。

■満足した（38名）

- ・ 普段の業務では関われない他の新人職員との交流を深められたから。
- ・ 普段市役所の職員とふれ合うことが少なかったのでこのワークショップでふれ合えたので良かった。
- ・ 様々な部署、環境の異なる方々と意見交換する事が出来て有意義でした。
- ・ 普段関わりのない職員のみなさんと楽しく学ぶことができたから。
- ・ 初めて話す、職種も違う同期の方々とこれからの新潟について沢山意見を交わし、考えることができたから。
- ・ 業種・年代の違う方と話し合い、コミュニケーションをとりながらワークができたから。
- ・ グループ内で今後の新潟市の地域課題について考え、他の人がどのようなことを考えているか知ることができました。また、はじめて話す人ばかりですが、きちんとコミュニケーションを取ることができ楽しくワークショップが出来ました。
- ・ 自分は「これをして、こんなまちにしたい」と思って就職してきたことと、同様の考えをもっている職員がいて、その中でどのような課題、施策があるのか、といったことを話し合うなかで、新たな発見があった。
- ・ 自分一人では、気付けなかった新潟市の魅力・課題をグループ全体で発見することができたから。
- ・ 新潟市の魅力として、自分が考えなかったことなど、他の人の意見をきくことができてとても興味深かった。
- ・ 自分が考えたこともなかった課題がでてきて勉強になった。
- ・ 様々な視点から新潟市の魅力や課題をとらえて考えることができたため。
- ・ 市内外の出身職員がいたため、別視点の意見を得やすかった。
- ・ それぞれ課が異なる班でのワークを通じて色々な視点から新潟市を捉え、知ることができたから。
- ・ いろいろな方の意見をたくさん知る事ができた。
- ・ 様々な意見を聞くことができたから。
- ・ 個人では考えつかない意見を聴くことができた。またそこから自分で考えることができた。
- ・ 各部から見た新潟の特徴や課題など多くの視点から新潟の今を知れた。
- ・ 楽しかった。新潟市の魅力・課題が分かった。
- ・ 新潟市のことをもっと知ることができた。
- ・ 新潟市全体のことについて考えることが久しぶりだったので、いい機会となったから。
- ・ 新潟市に対して、深く考える機会となったから。
- ・ 普段の業務の時にはあまり深く考える余裕のない新潟市の将来について、時間をとって課題やその解決法を考えることができたから。
- ・ 新潟市の街づくりについて改めて考える機会になったから
- ・ 行政の、新潟のこれからの課題について再認識できたから。
- ・ 改めて新潟市の魅力や課題を深掘りする良い機会となった。
- ・ 新潟についてそこまで深く考えることはありませんでした。新潟のことをここまで真剣に話し合い深めあうことで初めて気づく新潟の良さに出会うことができました。
- ・ ここまで新潟市について考えることは今までなかった。
- ・ 自分たちが住む新潟市の課題を改めて感じる事ができ、行政すべきことを

見つめることができたため。

- ・今後、新潟市の職員として働いていく中で、根本的な問題点（新潟市の）を改めて見ることができたから。
- ・今後の仕事に生かせる点、自分自身でも取り組んでいかなければ行けない点に気づいたから。
- ・自分の気付けない部分を魅力や強みと感じている人がいることを知ることができた。
- ・最後、発表できるまで至ったため。
- ・今までワークショップの経験があまりなかったので、貴重な経験になったため。
- ・意見の集約方法・出し方などを知れたから。
- ・ワークショップ、模造紙の使い方などを学べたから。
- ・進行過程ごとに丁寧な説明やアドバイスがあったため。
- ・次のワークを1つずつ説明してもらうことで、次に何をやるのか、どのような考えで取り組むのかが分かりやすかった。
- ・「各ワークの前で説明をした方が手順を忘れないだろう」というのはごもっともなのですが、最終地点だけでも教えてもらえたらもう少し意見がまとまりやすかったかなと思います。
- ・とても充実した時間を過ごせた。あっという間に感じた。
- ・決められた時間内で課題を解決することはとても大切だが、少し時間が短いと感じたから。

#### ■普通（5名）

- ・話し合いは出来たが、あまり議論が深まらなかった。
- ・班員と話し合う時間があったのは良かった。しかし、待ち時間や「ただ聞く」だけの時間はたいくつ。タイトルやまとめ方ももっと自由にさせてほしかった。「KJ法とは、こういうもの」という固定概念があるまま進行されていた感じ。
- ・内容については、今後の業務の中で必要と思われる要素が多かったため、良かったが、作業の説明が適宜されたため混乱する場面もあったため、一連の作業についてはある程度初めに説明していただいたほうが良いと感じた。
- ・必要なことは初めに全て説明してもらえると良かった。していることの手を止めてきくのは頭が切りかわらず中々覚えられない。
- ・最後の発表は回ると効率が悪いので、班ごとに発表した方がよい。
- ・市の職員として必要とは思いますが、実務で役立つのか言われるとギモン。

#### 〈Q3〉ワークショップでの気づき

- ・市には多くの魅力や使える資源があるのに上手く活用できていないことに気づいた。
- ・これといった魅力が新潟市には不足している。もしくは、広報不足を感じた。
- ・本日のワークショップでは、最後の発表でほとんどの班で新潟市の魅力について発表していました。そこで新潟市は魅力があるにもかかわらず発信があまりされていないのではと思い気づいた点になります。
- ・新潟市にはほこれるものがたくさんあるのに、県外で生活してあまり知る機会がなかったのは、PR方法のちがいのかと周りの発表を聞き気づいた。
- ・新潟のPR下手なこと
- ・市は、アピールが苦手であるということ。どの班でも出ていました。
- ・PR不足は全体的にどの業務においてもあると思った。
- ・多くの人が魅力を知りつつも発信できていないことを嘆いていたこと。

ワークショップのまとめ

- ・まずは自分が新潟市をもっと好きになり、発信していかなければいけないと思った。
- ・自分で住んでいる中では気付けない新潟の魅力を認識できました。
- ・今までにない新潟を見つけることができました。
- ・気づかなかった新潟市の魅力に気づけた。
- ・思いの外新潟市には魅了がたくさんあり、今まで自分はそれらに全然気づけていなかったなということに気づきました。
- ・色々な人と意見交換をして、新たに気づく新潟市の魅力を知れた。
- ・ワークショップを通して、自分の意見を他の人がそれにひも付けして、色々な意見を知れた。
- ・意外と新潟市の特産物が有名だと言うことが分かったが、交通面で不便な部分があるということ。
- ・新潟市の潜在的な魅力及び課題
- ・新潟市の魅力の再確認、問題点。
- ・新潟市の魅力・課題など様々なことに気づかされた。
- ・新潟のイメージというものが、自分の中でも確固としたものを持てなかったことが意外だった。
- ・新潟市についての知らなかったことの気づきもあった。また、同期の新潟市についての知識量、熱意も感じた。
- ・新潟の魅力や課題が知らない部分も知れた。
- ・自分が普段あたりまえのように感じてしまっていた新潟の魅力を再発見できた。
- ・自分が今まで気付いていなかった新潟市の魅力や地域課題に気付くことができた。
- ・自分が把握していない、市の課題が多くあること。
- ・新潟市の魅力、課題、行政がこれからすべきこと。
- ・新潟市の強みや課題を認識でき、その課題に対して強みをどのように生かすことができるか考えることができた。
- ・部署の性格が意見に反映される事が多かった様に感じます。
- ・どの課に所属しているかで視点、意見が異なっていた。
- ・班のメンバーが働く部署によって新潟市の課題だと思う点がちがった。特にインフラ整備の課題については勉強になった。
- ・今いる職場、出身地によって視点が違っていた。
- ・自分とは違う意見、多様な考え方を知れて勉強になった
- ・市外、県外出身の方は新鮮な目をもって、新たな気づきがありました。
- ・新潟市に住んでいる、住んできた人よりも、新潟市外の人のほうが魅力を分かっている気がした。
- ・人それぞれ、地域に関する考え方や視点が異なるということ。
- ・人によって大切にしている観点が異なることに気づけた。
- ・自分が気付かない視点があるということ。
- ・他者の意見をきき、様々な視点を感じる事ができた。
- ・自分が当たり前にも思っていることも魅力、課題ととらえられること。
- ・同じテーマでも個人個人によって、考える課題や思いが違い、改めてまちづくりや総合計画を作成するのは難しい仕事だなと感じた。
- ・人によって同じ政策でも様々な違う思いがあること。
- ・地域資源、地域課題を出す際、色々な考え方があった。
- ・新潟市の他の方が考える課題（こんなのもあるのか！というのものも…）
- ・他の人が抱いてる新潟市の理想像

- ・様々な視点からの意見で分からなかったことやさらに理解が深まったと思えました。
- ・自分では思いつかなかった魅力や課題について、教えてもらえた。
- ・新潟市において足りない点は自分の中に何となくありましたが今回他の班などの発表で考えもしなかった観点からの意見が聞けた。
- ・他の班の発表や、同じ班の人達の意見を聞いて、色々な視点からみた新潟市を知ることができた。
- ・1つの課題に対しても、それぞれの職場の強み・現状を把握しながら多角的に解決策を話し合うことができた。
- ・それぞれの所属の課で市の活性化のために改善していけたらよいところが知れて面白かったし、知識がついた。
- ・それぞれの所属で思いつくことが違っていたりしたり、新潟といえばの考えが同じ意見が多くあった。
- ・部署が異なっても新潟市に対して感じていることは似ていた。
- ・市職員が今の新潟市にもつイメージ・問題点は大体一致しているということ。
- ・多くの人がベースとして課題としている所は同じだと気づきました。
- ・他の班の考えたことを聞いて、自分の班と同様の内容で議論がされていたので、新潟市に抱えている課題に対して各職員が同じ認識をもっていることが感じられた。
- ・全ての班の発表をきいて、皆さん似たような事を考えているなと思った。
- ・目指す方向はほぼ皆同じであるということ。
- ・新潟市は少子化、人口流出など聞いたことのある問題もあったが、交通整備など話し合いによって気付くことができる問題があった。
- ・交通機関の充実が必要なこと
- ・新潟市の交通についても不満をもっている人が割といること。
- ・新潟にはランドマーク（市民共通のもの）がないということ。レインボータワーがなくなったことで、ランドマークと呼べるものが市民の中には今ないのだと思った。
- ・新潟市のシンボル不足、交通の弱さが大きな課題だと、全部の班の発表をきいた上でも思った。
- ・自分の職種以外の職種の方から、防災や子育て、農村開発など、自分では思いつかない視点からの意見が聞けて考える幅が広がった。
- ・一つの目的を達成するために、様々なアプローチの方法、また問題点があること。
- ・ひと言に「人口流出を防ぐ」といっても、多方面からアプローチできることを改めて感じた。
- ・マクロな視点で問題点を見ることの大切さを再確認した。その中で、1人1人にあたえられた仕事、責任をきちんとこなしていかなければならないと感じた。
- ・意見をひとことでまとめるのは難しい。
- ・複数人で意見を持ち寄ったときの統合の難しさ。他の意見がとても参考になる。
- ・いろいろな意見を出すにはコミュニケーションを良好にとる必要がある。
- ・人の意見を聞くことの大切さ。
- ・話のやり方、言葉の選び方が上手い人が多くいらっしまった。
- ・ワークショップを通じて同じ班の人の意見を聞くことで、自分の中の考えがまとまったり、新たな発見をすることができました。
- ・1つのことを行うための手段や方法が複数人で話し合うことでより多くアイデアが出されること。

- ・ 順を追って意見を出し、まとめていくことで、短時間でも発表出来るまで話し合いがまとまることに気づきました。
- ・ 周りの方のレベルが高いなと感じた。
- ・ まちづくりは非常に複雑でばくぜんとしていて難しいこと。

#### 〈Q4〉WSで嬉しかったこと・残念だったこと

##### ■嬉しかったこと

- ・ 他の所属の知り合いが増えたこと。
- ・ 異なる部署の人と知り合えたこと。
- ・ 同期の方と知り合えた事。
- ・ 新たな同期と知り合えたこと。
- ・ 同じ考えを持つ仲間に出会えたこと。
- ・ 人と話せたこと。
- ・ 他職員の話が聞けたこと。
- ・ 同期の方と、色々話せて良かった。
- ・ 同期とたくさん話せたこと。
- ・ 同期とたくさんお話できてよかった。
- ・ はじめて話す同期とコミュニケーションがとれたこと。
- ・ 普段の研修ではあまり話せなかった人とコミュニケーションをとれたので、人間関係を築くことができて良かった。
- ・ 同期の方とあまり話す機会がなかったので嬉しかった。
- ・ 普段は交流のない同期とコミュニケーションがとれたこと。
- ・ 普段会うことのない同期と色々話せたこと。
- ・ 同期と交流できて嬉しかった。
- ・ 同期の方々と交流を深められたこと。
- ・ 同期とワークショップを通じて交流ができて嬉しかった。
- ・ まだ話したことがない方とも交流することができた。
- ・ 話したことのない市職員と交流できたこと。
- ・ 関わりのない職員の方と学べたこと。
- ・ 普段交流できない人とグループワークを行えたこと。
- ・ 様々な人の意見をきくことができた。
- ・ メンバーとよいコミュニケーションがとれた。
- ・ 班の方と交流でき、意見を聞いたり、考えていることを知れたこと。
- ・ 班員と話せたこと。色々話していると、新しい集団力動が生まれてきておもしろかった。
- ・ 意見交換できたこと。
- ・ 全員で共有し、話ながらできたこと。
- ・ 自分の班で話し合ったりコミュニケーションがとれて楽しくできたことです。
- ・ グループ内で数多くコミュニケーションが取ることが出来て嬉しかったです。
- ・ グループの方が全員積極的だったので、静まることなく話し合いを深めることができたことが嬉しかったです。
- ・ 一人一人の意見を全員で聞いて全員でまとめあげることができたこと。
- ・ 班の中で意見がまとまって嬉しかったです。
- ・ 意見を1つの方針にまとめられたこと。
- ・ 最初はお互い緊張しながらも最後には意見をまとめ発表できるまでに至ったことがうれしかったです。
- ・ 1人ひとりの意見が尊重されており、嬉しく思いました。

- ・様々な意見を交換することで、より深く課題について話合うことがうれしかった。
- ・自分の意見と他の人の意見が合わさることでより良いアイデアになったことが嬉しかった。
- ・いろいろな考えに接することができて新鮮だった。
- ・自分なら、他の人はこの意見の違いを知れた。
- ・自分にはない見識にふれることができた。
- ・Q2でもあったように、自分の部署以外の方の意見が聞けて嬉しかった。
- ・色々な意見が聞けてよかった。普段の業務の専門外のところもあり勉強になった。
- ・多くの人の意見を知ることができてよかった。
- ・コロナ渦で同期と話す機会が少なかったので、色々な職種の人から話をきいたり、職種ならではの意見・考えを知ることができて嬉しかったです。
- ・新潟の良さに気づけたことです。
- ・新潟市の魅力をより知れたことです。
- ・新潟市の魅力と問題を知ることができた。
- ・Q3の発見ができた（新潟市の魅力、課題、行政がこれからすべきこと）。
- ・やはり課題が多い新潟だと痛感しました。行政として行うべきことはいっぱいあります。
- ・様々な部署の考えを聞いたこと。
- ・自分の意見を周囲にしっかり伝えることができて良かった。
- ・グループのメンバーが発言内容に共感・受容してくれて自分の意見を堂々と言うことができた。
- ・「このアイデアが良い」とチームの中でほめてもらえたこと。
- ・最後、無事に発表できたこと。
- ・発表者に選ばれた事。
- ・誕生日が同じ方がいた。

#### ■残念だったこと

- ・最初に書いた「地域資源と課題」のシートを共有する機会がなかったこと。他の班の内容をもっと見たかったです。
- ・もっと魅力や課題に気づき、意見を出せるとよいと思った点が残念だった。
- ・もう少し発言できればよかった。
- ・行政がすべきことの題名が難しくなかなか思いつかなかったこと。
- ・自分の意見や他人の意見を発言したり、まとめたりが難しかった。
- ・抽象的でまとめるのが難しかったこと。
- ・意見を集約し、まとめ文章にすることが難しかった。
- ・もう少しまとめられたのではと残念に思いました。
- ・時間ぎりぎりの作成で、自分の中でまとめる時間がとれず、発表の際にとまどってしまった。
- ・発表はとても難しかったと思います。
- ・最後の発表で上手く話すことができなかったことです。
- ・全体発表がなかったこと。
- ・考える時間が短かったこと。
- ・もっとフリートークして仲良くなりたかったこと。
- ・考える時間が足りなかった。
- ・もう少し長くても良かった。
- ・少し時間が足りないと感じました。
- ・少し時間が短かったことが残念だった。



ワークショップのまとめ

- ・もう少し長時間でやれたらもっとよいのではないかと思った。
- ・半日じゃなく、1日通してやりたかった。
- ・半日で終わってしまうこと。これからPM働くこと。
- ・最初の関係づくりゲームで全て誕生日がそろわなくて残念でした。
- ・バースデーサークルのルールが2つのグループで違ったこと。ジェスチャーOK、ジェスチャー禁止、でした。
- ・アイスブレイクのやり方が事前ルールとちがくなったこと。
- ・全員とでは無い事が残念でした。
- ・会場まで遠い。
- ・残念なことは1つありませんでした。

〈Q5〉 学びを今後の業務にどう活かすか

- ・今後の業務に新潟市の新しい視点を持って活かしていきたい。
- ・今まで自分が考えていなかった新潟の魅力、課題を認識できた。視野を広げ業務にあたりたい。
- ・広い視野をもって仕事していきたい。
- ・自分の業務にあたる際も幅広い視点で考えたいと思う。
- ・普段の業務で新潟市の魅力や、今後について考えることがなかったので、広い視野で業務に取り組んでいきたいと思っています。
- ・自分が気付いていなかった課題や意見も多くあったので、もっと視野を広げ、様々な視点から課題に取り組むようにしたい。
- ・広い視点でまちの未来を考えられた。普段の業務でも広い視点をもって取り組みたい。
- ・業務範囲外の事も興味を持って、問題解決に取り組みたい。
- ・違う視点からの新潟の意見を生かしたい。
- ・自分では気づけなかった市の良いところ、課題がありました。それを忘れずにいること、そして視野を広くもちながら業務にあたりたいと思いました。
- ・今回の研修では、様々な視点から新潟を考えることができ、すごく可能性が多い市であることに気付くことができた。ワークショップの進め方もとても勉強になりました。これからも新潟の今後について考えていきたい。
- ・ワークショップでの意見のまとめ方の手順は今後、業務で同様のことがあった場合に生かせると思います。
- ・ワークショップの進め方は、今後物事を考える上で、考えを引き出し、整理する方法として積極的に活用していきたい。
- ・異なる意見同士をまとめることの大切さを学んだので、職場でもそれを実践していきたい。
- ・会議やミーティングで、意見の集約方法や発言の意図の汲み取り方を活かしたい。
- ・アイデア出しや、意見をとりまとめる場で使っていきたい。
- ・ワークショップのような情報のまとめ方は今後、業務に行き詰まったときに役立つと思う。
- ・アイデアを出すときに、付せん書き出してみようと思います。
- ・意見を出し合い、まとめる手法を真似したい。
- ・色んな意見をとりまとめる（集約する）ことを学んだ。今後、打ち合わせ等で、皆の色んな意見や考えをまとめるときに活用したい。
- ・自分の意見をきいてもらう、他の人の意見をしっかり聞くということを今後の業務でも心がけたい。
- ・自分の意見と異なる意見を受入れ、消化する事を活かしていきたい。

- ・意見を積極的に述べること。また他の人の意見を必ず自分で考えること。
- ・自分の意見を積極的に言うことで、議論が発展していく。この経験を、業務にも生かしていきたいと考えます。
- ・結論まで出せなくても、キーワードを出すことで新しい発想につながるなと思ったので、発言を怖がらずにしていこうと思います。
- ・多くの人へ意見を伝えること・意見をきくことを大切にしたいです。
- ・まとめた内容を伝えるスピーチする力。
- ・発表の仕方に個人個人特徴があって、とても勉強になった。自分もうまく説明できるように日々努力していこうと思う。
- ・グループ活動での行動のしかたを反省し、もっと上手くできるようにする。
- ・新潟についても広く情報収集したいです。
- ・新潟について、対外的に話せるようにしたい。
- ・新潟の魅力を伝えていきたい。
- ・魅力を伝えていく際に伝えたい。
- ・児童に関わる人が多いので、魅力を語れるようにしたいと思います。
- ・市民に市のサービスや良い点はきちんと伝えていきたいと感じた。
- ・市民の皆さんに発信していきたいです！！
- ・今の仕事のPRをしていきたいと思った。
- ・新潟市をもっとPRするために、業務でできる範囲で良さを発信していきたい。
- ・今日のワークショップで学んだことを活かし、PRのやり方などを工夫していきたいと思う。
- ・市職員の役割を認識して、働きたい。
- ・市民の方の要求・ニーズに寄り添った窓口対応をしていきたい。
- ・市職員として心がまえとして活かしていきたい。
- ・新潟市を動かす側の人間として誇りをもっていきたい。
- ・市民生活・利便性・快適性向上を目指すために活かしたい。
- ・課題点がうきばりになったので、自分の業務を行う上で反映させていきたい。
- ・魅力ある新潟市に向け、施策作りのさいに活かしていきたい。
- ・担当業務の中でも新潟市の理想像に必要なものを探して考えていきたいです。
- ・住みよいまちにするために仕事をするとという視点が抜けていたので大きな目的としてそれがあるということを心に留めて仕事をしたい。
- ・ただ仕事をするだけでなく、どのようにしたら市の理想像に近づくか考えながら業務をしていきたい。
- ・新潟市をより良くするという意識を持ちつづけて仕事をしていきたい。
- ・小さな業務でも、最終的には「何のための仕事」なのかを認識することが大切だと感じた。
- ・私の業務は、道路や側溝などの整備ですが、こういった仕事が発展にどう繋がっているのか考えながら働きたいです。
- ・自分たちで思いえがいた理想を実現できるように、まずは自分の業務を日々がんばりたいです。
- ・目的を達成するため様々な取り組みをしていきたい。
- ・目標が明確になったので、仕事の異動などで機会があったら行動していきたいと思います。
- ・住みたい、住み続けたいと思える街づくりのために、施設のバリアフリーや利便性に優れた施設改修を図っていきたい。
- ・今後の行政を考える上で今日の内容を参考にしたい。
- ・支援対象者との会話でいかしたい。

- ・子育て支援は業種的に深いかかわりがあり、自分自身でも若い世代の転出が多いと感じるため今日の話合いの内容を活かしていきたい。
- ・新潟市の課題がどのようなものか学びました。そこで今、私ができることを考え今後の業務に活かしたいです。
- ・今回のワークショップのテーマは業務とは直接関係ありませんが、アイスブレイクを行ってから窓口手つづきに入るなど、市民の方との関わり方に活かしたいです。
- ・新潟市の足りない点で除雪対策なんかはいずれ担当になる業務だと思うので足りない点であげられないようにがんばっていきたいです。
- ・色々な部署にいる人と話し合いができて、その方々の意見をふまえ、自所属の方で活かせることがあったので、活かしていきたい。
- ・自分の職場（福祉関係）でも活かせるような意見があった。少しでも貢献できるように動く。
- ・広い分野を知識として知れたので今後その知識を活かしていきたいです。
- ・他部署に異動したときに思い出して、必要なことと認識し反映できるようにしたい。
- ・直接役立つかは分からないが、今回出た意見を自分の知識の一つとして吸収して役立てたらうれしい。
- ・現在携わっている業務ではあまりできないことですが、異動したら、できることをしたい。

#### 〈Q6〉その他、気づいたことなど

- ・理想と現実が違って考えることが大切。行政は理想を追い求め続ける。
- ・2班の発表がとても良かった。皆同じような内容になってしまうが、発表の仕方でも伝わりやすさが変わってくる。プレゼン能力が向上するような研修がもっとあればよかったです。コロナなので難しいとは思いますが…。
- ・「SNSで魅力発信」は皆言っていたが、すでにやっていると思います。どうやったら見てもらえるか？まで考えたかったが、時間が足りなかったです。ありがとうございました。
- ・今回は、比較的年代が近い者同士だったので、年代ちがいの人ともこういったWSを行うことができるといいと思う。
- ・今後も、こういったワークショップを通して、同期とのつながりを作れればと思います。
- ・久しぶりに他業種（務）の人とコミュニケーションをとれてとても楽しかったです。
- ・みんな考えて楽しかったです。
- ・ワークショップ、悩みましたが、たのしかったです！！
- ・楽しくワークショップができました。ありがとうございました。
- ・楽しんで学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・同班の出身等の情報が最初あればより深い話し合いができたかとも思いました。
- ・シート以外の課題（グループワーク中の）について、紙とかを配って頂けるとうれしいです。（見えにくかったため）
- ・次何をすればよいか不明確な時があった。
- ・席が机の横だったので、少し座りづらかった。
- ・音文にはじめてきて（市民でしたが）、場所（案内板等）がとてもわかりにくかったこと。
- ・自分の字が汚くてかなしくなりました。

- ・大変勉強になる良い機会をありがとうございました。
- ・有意義な時間をありがとうございました！
- ・とても楽しい研修でした。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。(2)
- ・まちづくり学校さんのワークショップに他にも参加してみたい。

ワークショップのまとめ

